平成２１年度　個別支援会議の開催状況（１０月～１２月）

	年齢	性別	障害種別	開催日	定例・簡易	出席機関														検討事項	結果	課題	出席者数
						本人	家族	障害福祉サービス事業所					その他福祉関係	医療関係	保健関係	就労関係	児童関係	教育関係	高齢者関係	その他				
								相談支援	訪問系	日中活動系	居住系	その他												
22	12	男	知的	10月13日	簡易	—	—	○	—	○	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—	母子家庭で母も知的障害疑で、本児の自立にむけた支援方針について検討	現在の状況確認、情報交換、母の希望を聞いて再検討		3
23	12	男	知的	10月29日	簡易	—	○	○	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	№21の会議受け、母の希望聞き支援方針を検討	母のみで養育するには負担大きいため福祉サービスの利用や祖母の協力について検討した		4
24	26	男	知的	10月30日	定例	—	—	○（4）	○（2）	○	○（3）	—	○	—	—	—	—	—	—	—	不安神経症で一人で過ごせない母が家政婦利用し生活上の経済的破綻が予想され、今の生活維持が困難。今後の生活支援について	母が一人で過ごせるプランや本人の入所に向けての準備などのいくつかの案を示した上で母に選択してもらう		13
25	44	女	知的	11月5日	定例	○	—	社協	○	○	○	—	○（2）	○	—	—	—	—	—	—	※№12のケース再度開催 万引きの再犯防止のための支援策、実家の土地建物の処分について	万引き行為の重大さを認識してもらうとともに、金銭管理を見直して細かく支援。実家の処分について後見人制度の利用など	日常的な金銭管理を行う公的なサービスがない	8
26	67 53	男 女	精神	11月10日	定例	—	—	○	○	—	—	—	○（3）	○（2）	—	—	—	—	○	—	※№9のケース再度開催 夫婦喧嘩など頻繁で自宅での生活は不安定であり、夫は入退院を繰り返しているため、退院後の生活支援について考えたい	一時的な別居（施設等利用）か、在宅でサービス利用しながら生活するか、入院中の外泊等で自宅生活のイメージを夫婦に持ってもらい、希望を元にその後の	精神疾患のため入退院を繰り返す方の地域生活を支える仕組み	12
27	51	男	知的	11月10日	定例	○	○	○	—	—	—	—	○（3）	—	—	—	—	—	—	○	生活保護など経済的な支援が必要であり、自宅の処分等財産管理や身上監護での成年後見制度の利用含め今後の生活支援について考えたい	障害年金の裁定請求、成年後見の申立、自宅の売却や市営住宅の申込など親族中心に、相談支援や関係者でフォローしながら進める		9
28	12	男	知的	11月10日	定例	—	○（母）	○（3）	○	○	—	—	○	—	—	—	○	○	—	—	両親が共働きで、放課後や学校の送迎で祖父母が対応しているが、異食や突発的な行動に対応困難なため、代わる支援を考えたい	現在は利用事業所が一ヶ所であり、他事業所でも対応できるようサービスの利用方法を工夫し、学校への送迎については困難になった段階で学校とも相談	事業者間での情報交換やノウハウの伝達	8
29	3	男	身体・知的	11月18日	定例	—	—	○（3）	—	○	—	○	○	—	—	—	○（2）	—	—	—	離婚し母子家庭となり、母の仕事の都合で生活が大変な状況、母の相談先や今後の対応などの支援方針について	母が育児が出来るようになることを援助目標として、関係機関で協力、父の協力も仰ぐ		11
30	17	女	知的	11月26日	簡易	—	○（母）	○	○	○（2）	—	○	—	—	—	—	—	○	—	—	今年度卒業予定のため進路について検討	援助仮説を立て、それに基づき支援する。実習の結果を踏まえてスムーズな移行が出来るよう進路先の調整	学校との連携	8
31	31 45	女 男	知的	12月2日	定例	○	○（両親、親族）	○	○（2）	○	—	○	○	—	—	—	—	—	—	○（保佐人）	結婚の希望がある２人への生活支援について、心配な点などを整理したい	財産や自宅の管理、赤ちゃんが出来た場合の育児支援など、制度で対応できることを整理	障害のあるかたの結婚のための支援	13
32	17	女	重心	12月4日	簡易	—	○	○	—	○（2）	—	—	—	—	—	—	—	○	—	—	今年度卒業予定のため進路について検討	卒業前に施設実習等で体験、卒業後切れ目無く支援が継続されるように連携して取り組む	学校との連携	6
33	53	女	精神	12月11日	定例	○	—	○（3）	○	○	—	—	○（2）	○	—	—	—	—	—	—	退院に伴い生活基盤を整えるための調整会議	入院前の支援体制を見直し、金銭管理や服薬管理の支援について調整	精神疾患のため入退院を繰り返す方の地域生活を支える仕組み	12
34	57	女	知的	12月11日	定例	○	—	○（2）	○	○（2）	—	—	○	—	—	—	—	—	○	—	介護保険から障害福祉サービスへの切り替えが必要で、本人にとって負担少なく、スムーズな移行を考えたい	現在利用の通所介護が生活介護の基準該当を取り引き続き利用できないか再検討する	障害福祉サービスと介護保険の連続性の確保	9

平成２１年度　個別支援会議の開催状況（１２月～３月）

	年齢	性別	障害種別	開催日	定例・簡易	出席機関														検討事項	結果	課題	出席者数
						本人	家族	障害福祉サービス事業所					その他福祉関係	医療関係	保健関係	就労関係	児童関係	教育関係	高齢者関係	その他				
								相談支援	訪問系	日中活動系	居住系	その他												
35	10	男	知的	12月17日	定例	—	○（母）	○（2）	○（2）	○（3）	—	○	○	—	—	—	○	○	—	—	突発的な行動や自傷行為などがある本児への対応や今後のかかわりかたについて	本児の療育のために必要なサービスを提供できるよう相談支援事業所でサービスを調整する	事業所によりサービス提供内容が異なる	13
36	44	女	精神	12月28日	定例	○	—	○（2）	○	—	—	—	○	○（2）	—	—	—	—	—	—	乳がん治療に伴い支援方針の確認、必要なサービスの見直し	治療方針が決定したところでサービスの調整（ヘルパーの支給量変更など）	入院時利用できる公的サービスの不足や、単身生活の方の生活を支える仕組み	10
37	58	男	知的	1月6日	定例	欠席（当日拒否）	—	○（3）	—	○（2）	—	—	○（2）	—	—	—	—	—	—	○	今後の生活の立て直しのために日中活動および金銭管理について検討	本人との関係を作ることと同時に適切な飲食代使用ができるように店側とコンタクトをとり対応を考える	・飲食店の特定と対応 ・本人の望む生活をいかに支援するか	8
38	57	女	知的	1月21日	定例	○	—	○	○	○	—	—	○（2）	—	—	—	—	—	○（2）	—	介護保険から障害福祉サービスへの切り替えが必要で、本人にとって負担少なく、スムーズな移行のための調整	通所部分のサービス切り替えは来月より。スケジュール表など本人へ提示する。相談支援により調整	介護保険と障害福祉サービスとの連続性の確保	8
39	37	女	知的	1月29日	定例	—	○	○	—	○	—	○	○	—	—	—	—	—	—	○	本人からの訴えのみで家族の対応が不明なため関係機関で情報交換を行う	家族と支援者での連絡を良くし、本人の訴えを受け止めつつ生活面の改善を図る	家族関係の調整、権利擁護	6
40	9 5	男	知的 発達	2月3日	定例	—	○（母）	○（3）	—	○	—	—	○	○	—	—	○（3）	○（2）	—	—	家族関係を改善し、一家に対する支援策を考えるために関係者での情報交換を行う	父との適切な距離を保つために福祉サービスを利用することや、父の受診勧奨、母の相談先などについて支援方針を共有	障害のある子と精神的に不安定な両親への継続的な支援	13
41	3	女	知的	2月5日	簡易	—	—	○	○	○	—	—	○	○	○	—	○	—	—	—	母筋ジスの診断有り家事がほとんどできない、父未就労で経済面不安定、一家の支援方針について支援者間での情報交換や役割分担	窓口は保健所として病院、相談支援等で役割分担をし、一家の支援にあたる	家族基盤が弱い家庭への支援	11
42	28	男	身体・知的	2月17日	定例	—	○（母）	○（3）	—	○（2）	○（2）	—	○	○	—	—	—	—	—	—	知的障害、聴覚障害、精神障害があり、現在精神科病院入院中だが、退院後の支援について、母の不安軽減も含め、関係者で検討	会議での検討をもとに福祉サービスの利用について具体的な予定表を相談支援で作成し母・本人に提示、検討してもらう	発達障害も併せ持つと考えられるため、適切なサービス提供、母への支援等	9
43	48	女	精神	2月22日	簡易	—	—	○	○	—	—	—	○（3）	○	—	—	—	—	○（2）	—	母と本人の2人世帯で生活保護受給しているが、弟も居住し保護費を弟が乱費し生活費に困窮。どのような支援が必要か検討	保護費の支給の仕方を検討し、緊急時に備え予備費を作ることや、関係者の態勢を整えること、必要に応じ制度利用すること等を関係者で確認	金銭管理、権利擁護	8
44	18	男	身体・知的	2月22日	定例	○	○（母・姉）	○	○	○（3）	—	—	○（2）	—	—	○	—	○	—	—	身体・知的障害があり不登校状態。卒業後の進路や生活の支援などについて検討。また、離婚した父の緊急的な保護・支援等の必要性について	本人の通所先の見学や余暇支援、一家の生活費や、離婚した父への緊急的な支援について対応を検討した	家族支援	13
45	24	男	療育	2月25日	定例	—	○（母）	○（3）	—	○（5）	—	○	○	—	—	—	—	—	—	—	自宅では母に対しての暴力や物を壊すなどの行動があり、家族で対応が困難になっている。現在入院中だが、退院後の本人への支援について	家庭以外では落ち着いて過ごせている、同様に本人が過ごせるよう、通所先事業所が家族への支援を行う	障害特性に合わせた対応	10
46	42	男	発達	2月26日	定例	—	○（母）	—	—	—	—	—	○	○	○	○	—	—	○（2）	—	本人落ち着かず母に対しての暴力や暴言があるため、緊急時の対応や本人への支援等について情報交換し検討する	発達障害のある本人への適切な対応や、無理なく活動できる環境の設定等を行う。母の避難先としては兄宅や高年で対応	障害特性に合わせた対応	7
47	10	男	療育	3月4日	定例	—	○（母）	○	—	○（3）	—	—	○	—	○	—	○	○	—	—	複数の関係機関があるため、情報交換・共有を行い支援方針の統一を図る	コーディネイターを設定し、支援方針を統一することが出来た		11
48	3	男	重心	3月17日	定例	—	—	○（2）	—	○	○	○	○	—	—	—	○（2）	—	—	—	歩行獲得のために施設入所の運びとなるため、入所後も母子関係が継続するように支援体制を整えるための情報交換等	退所後のことも考慮した対応を関係者で共有し、共通理解のもと母子支援を行う	権利擁護	11
49	32	男	療育	3月31日	定例	○	○	○	—	—	○	—	○	—	—	○（2）	—	—	—	—	就労しており通勤寮利用開始したため、支援体制に関する情報交換と、今後の支援方向について確認	通勤寮での基本的生活習慣や金銭管理などの指導を受け継続的に就労でき本人の希望する生活が出来るよう	将来的な居住の場の確保	8

平成２２年度　個別支援会議の開催状況（４月～６月）

	年齢	性別	障害種別	開催日	定例・簡易	出席機関														検討事項	結果	課題	出席者数
						本人	家族	障害福祉サービス事業所					その他福祉関係	医療関係	保健関係	就労関係	児童関係	教育関係	高齢者関係	その他				
								相談支援	訪問系	日中活動系	居住系	その他												
1	37	女	知的	4月2日	簡易	○	○（兄）	○	—	○	—	○	○	—	—	—	—	—	—	○（民間相談所）	先回の会議を受けて本人ががんばっていることを強化し、家族関係の改善を図る	本人はがんばっているが、家族関係のバランスから兄からの強化は得がたい。就労に向けての取り組みを強化していくこととした。	家族関係の調整	6
2	52	男	知的	4月21日	定例	○	○（妹、弟）	○（4）	—	○	○	—	○	—	—	—	—	—	—	—	両親高齢、病気等のため、自宅での生活が困難。ショートステイ利用して凌いでいるが、今後の居住の場について	長年利用している事業所母体でのケアホーム利用が望ましいため、その可能性について検討し回答を待つ	居住の場の確保	13
3	61	男	重心	4月21日	定例	—	○（妻、娘の婚約者）	○	○	○	—	○（福祉用具）	○	○	—	—	—	—	○（2）	—	現在入院中で胃ろうや吸引のケアが必要な状態であるが、退院後の支援プランについて検討	夜間のケアに家族の協力が得られないか、昼間のケアが通所事業所で可能かなど、支援策について案を練ることが出来た	医療的ケアが必要な方に対応できる福祉サービスの確保	11
4	3	女	重心	4月27日	定例	○	○	○	—	○	—	—	○	○（2）	○	—	—	—	—	—	てんかん発作が頻回で介護が２４時間必要な本者の介護者である母の負担軽減（入浴やレスパイトなど）、情報交換	日中一時や移動入浴の利用が出来ないかについて検討	医療的ケアが必要な方に対応できる福祉サービスの確保	10
5	16	男	知的	4月27日	定例	○（後半）	○	○（4）	—	○	—	○	○	○	—	—	○	—	—	—	非行行動や家庭での問題行動があり父子関係が悪化したため入院している本人に対する適切な支援を検討	本人の希望をもとに、退院後就労支援を開始することと、家族による配慮を必要とした	障害・非行に対する家族の理解や支援	11
6	17	男	知的	5月19日	定例	—	—	○（5）	—	—	○	—	○	—	—	—	○（2）	○	—	—	児童養護施設入所中で養護学校在学中。卒業後の進路や居住の場について検討	今後考えられる生活スタイルについて情報交換・検討を行った。	居住の場の確保、谷間のない支援	12
7	27	男	知的	6月1日	定例	—	○（親族）	○（4）	○（2）	○	○（2）	—	○（2）	—	○	—	—	—	—	—	自閉症の本者とパニック障害の母との２人暮らし。母のこだわり等強く生活費の問題が改善されない。今後の支援について。	生活費の問題は自己責任となるが、危機的状況に備え関係者での支援体制を整えて一家の見守りを行う	日中活動の通所費用の問題、将来的な居住支援	13
8	15	女	知的	6月16日	定例	—	—	○	○	—	—	—	○（2）	—	—	—	○	—	○（2）	—	祖母と本児の２人世帯。祖母の体調や認知症（知的障害）疑いなどで自宅での生活が困難になった場合に備えて検討	近隣住民の支援も手厚いケースだが、支援者により適切な支援体制を整えつつ協働で支援にあたっていく		8
9	11	男	発達	6月18日	簡易	—	○（母）	—	○	○	—	—	—	—	—	—	○	○	—	—	本児の行動や障害の理解のために、関係者での情報交換を行い、より良い支援につなげる	関係者からの情報提供、CARSを用いての検討を行うことが出来た		
10	52	男	精神	6月21日	定例	—	○	○	○	—	—	—	○	○	—	—	—	—	—	○（後見人）	精神科病院入院中。退院後の生活支援、生活費の確保等について検討。知的障害のある女性との同居希望あり。	本人らの希望をもとに居宅介護支援やデイケア等組み合わせ地域での生活支援を行う。	土地売買までの間は従兄弟による金銭面の支援が不可欠	12